



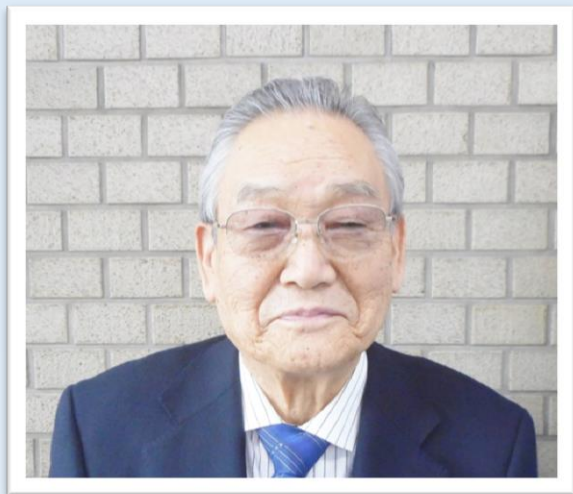
自治連だより

第39号

平成30年3月9日

発行：伊丹市自治会連合会

編集：広報委員会



今年度を振り返って

伊丹市自治会連合会

会長 榎木光夫

(天神川ブロック・鶴田自治会長)

自治会長はじめ役員の皆様、自治会員の皆様には、平素から地域活動にご理解・ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

現在、自治会をはじめとする地域コミュニティは、少子高齢化や若年世代のライフスタイルの変化等に伴い、自治会加入率の減少や担い手不足といった課題に直面しております。課題解決を図るため、今年度より、当連合会においても、行政と連携しながら先進自治体の調査・研究を行い、自治会加入促進策等の取り組みを進めているところであります。

また、伊丹市が進める『地域コミュニティ基盤強化事業』では、現在、市は条例制定に向け、動いており、当連合会におきましても、今後も研究を深めるとともに、行政その他関係機関と協議、連携し、その実現に努めていきたいと考えております。

最後になりますが、当連合会、各自治会の更なる発展のため、引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年伊丹市自治会連合会新年互礼会 開催報告



1月5日（金）、スワンホールにおいて、伊丹市自治会連合会主催の「平成30年新年互礼会」が開催されました。

新年互礼会は、伊丹市自治会連合会の総務委員会が中心となり企画・運営を行っており、当日は市内の全17ブロックから自治会関係者の皆様にご出席いただくとともに、各関係機関からもご来賓をお迎えし、総勢170名以上で盛大に開催されました。

日頃、安全・安心のまちづくり実現のため、各地域で精力的にコミュニティ活動を行っている皆様にとって、今回の互礼会は、他ブロックとの交流や情報交換につながり、今後の活動に活かすための良い機会となりました。

写真左 榎木会長あいさつ

写真右 170名以上の自治会関係者が出席

広報委員会主催『人が集まるチラシの作り方講座』開催報告



2月28日（水）、伊丹市防災センターにおいて、『人が集まるチラシの作り方講座』と題して、広報委員会初の試みとなる研修会を開催しました。

当日は、株式会社コトバノミカタ代表取締役でグラフィックデザイナーの本下瑞穂（ほんげみずほ）氏を講師にお迎えし、講座を行いました。

講座では、チラシの基本構成や考え方、デザインのポイント等の他、参加者同士で、チラシを使った自己紹介をするワークショップも行われ、実践的なチラシの作り方を学ぶことができました。

今回の研修会を通して広報スキルを高め、各地域の広報活動に活かしていただければ幸いです。



見守りの様子

花里小学校地区 子どもの見守り活動

花里地区社会福祉協議会 見守りたい

○見守りたい長：兼松 光子さん



インタビューにご協力いただいた兼松さん

【見守りたい募集】

花里小学校地区にお住まいの方であれば
どなたでも参加できます。
子どもたちの登下校の見守りをお手伝い
していただませんか。
もしご興味ある方は気軽にご連絡下さい。

連絡先：兼松 光子（777-1834）

子どもたちから毎日エネルギーをもらえる

－“見守りたい”結成のきっかけは－

兼：2001年に発生した大阪府・池田小学校の事件を受けて、地域の子
どもは地域で守らないといけないということで主体的に見守り活動が
スタートしました。
現在は32名の見守りたい員があり、花里小PTAにも協力を得ながら
活動しています。

－普段はどのように活動されていますか－

兼：交通量の多い場所や通学路の15ヶ所に見守りたい員が立ち、主に登
校時の7時30分頃から見守りを実施しています（一部下校時も実施）

－活動を継続していくポイント等があれば教えて下さい－

兼：見守りをする事で、子どもの安全安心につながることはもちろん
のこと、規則正しい生活ができ、健康にもつながっているのが結果、
自分自身のためになっていると思います。子どもたちからも毎日エ
ネルギーをもらえるし、子どもの成長を見るのが楽しいですね。会
うとハイタッチしたり、ジャンケンしたり、本当に色んな子どもた
ちがいますよ（笑）
毎年、花里地区社協や花里小、花里小PTAの方々に見守りたいへ
のお礼の会等を開いていただき、地域の皆さんや子どもたちから感謝
の気持ちをいただくことが嬉しく、励みになっています。

1泊2日の防災訓練

笹原ブロック 野間自治会

○自治会加入世帯数：338世帯
（平成29年4月1日現在）

○会長：古林 正幸さん

○自治会HP：<http://noma-jitikai.sakura.ne.jp/>



夕食はカレー



バケツ消火リレー

楽しく、実践的な防災訓練を目指して

－訓練の内容を教えてください－

古：野間自治会、自主防災会合同の防災訓練を秋頃に開催しています。南野消防
署にも協力いただき、バケツリレーの方法や応急処置、担架の作り方等の指
導をしていただいています。その他にも震災時の家庭の準備品などについて
も勉強を行う等、一連の訓練を1泊2日で行っています。

－宿泊までする訓練は珍しいと思います－

古：宿泊を取り入れたのは平成28年度からですが、最初は野間西公園にテントを
張って、宿泊・炊き出し等を行いました。今年度は体育館に避難することを
想定して野間会館（自治会館）に宿泊し、非常食（アルファ米）の試食等
を行いました。実際に避難することを想定した方が実践的だし、宿泊するこ
とが合宿感覚で参加者も楽しめるかなと。

－工夫しているポイント等がありますか－

古：訓練もただ指導を受けてやるだけだと受身でおもしろくないですね。
グループ毎に分けて、担架リレーやバケツ消火リレー等、競争しながらやる
ようにしています。参加者同士で協力、ワイワイやりながらやることで、訓
練が少しでも身につけばよいと思っています。



インタビューにご協力いただいた古林会長



アルファ米を試食



伊丹小自治協と連携した 地域猫活動の取り組み

伊丹ブロック

《伊丹小学校地区自治協議会・NPO法人みゅうみゅう》

きっかけは家に迷い込んだ野良猫

生活環境の改善になれば

－地域猫活動をはじめるきっかけは－

川：元々は、私の家の庭で猫が出産したことがあって、その時は子猫をもらってくれる方がいたのですが、その次の年も産みに来てしまって、このままでは毎年産みに来てしまうと思い、個人的に迷い込んだ野良猫に対して避妊・去勢の手術を受けさせていました。ある時、市役所に相談に行ったところ、団体を設立してはどうかとアドバイスをいただき、同じ悩みを抱えている方と協力して、『みゅうみゅう』を設立しました。その後、伊丹小学校地区自治協議会（以下、伊丹小自治協）の皆様のご協力を得て、市の協働事業提案制度に採択していただき、今日まで活動を続けてきました。

－地域猫活動とは－

川：野良猫を殺処分せず、T.N.R（捕獲・不妊去勢手術・元に戻す）をすることで今以上に猫を増加させず、また、地域で管理することで、境界なく動く猫の数を減少させるという取り組みです。手術をすると発情期の鳴き声、オスのマーキングがなくなり、尿の臭いが軽減されます。時間はかかりますが、人の生活環境を守るためにも有効な活動です。

－伊丹小自治協と協力するきっかけは－

川：地域猫活動を実施しようとなると、どうしても自治会をはじめとした地域の方々のご協力が不可欠になってきますので、ご相談させていただいたのがきっかけです。

勝：伊丹小自治協としては、野良猫に関するアンケートの実施や、必要物品を援助するなどして、活動に協力しています。

－活動を続けていくための課題は－

川：住民の方の同意が得られず、地域猫活動を断念される個人や地域の方がいらっしゃいます。ふん尿等の猫に関わる問題を解消していくためには、いかにこの活動を理解して、ご協力いただけるかだと思います。

－最後に、今後の展望など教えて下さい－

川：捕獲時に保護せざるを得ない子猫等、不幸な猫たちを生み出さないようにT.N.Rを基本とした地域猫活動を市全域に進めていけるように、一歩ずつですが努力すること。人が安心できる生活環境が猫たちも生きていきやすい環境になるということで、活動を続けていきたいと考えています。



インタビューにご協力いただいた

勝野 正己さん

（写真左、伊丹小自治協生活環境部長・清水自治会長）

川瀬 あや子さん

（写真右、NPO法人みゅうみゅう理事長）



伊丹小学校区内に設置された猫のトイレ



地域猫に関する勉強会の様子

地域猫活動についてご相談ください

連絡先

NPO法人いたみ野良猫をふやさない会みゅうみゅう

〒664-0836 伊丹市北本町1丁目147

電話：090-8120-0065

Email：mewmew41@softbank.ne.jp

三役・各委員会よりメッセージ



【副会長】市川伊久雄
(総務委員長)
(鈴原ブロック・西御願塚自治会長)

総務委員会では自治会長の皆様が地域で活動するために必要な情報提供や親睦を深める場の提供を主な事業目的として活動しています。

「新任自治会長研修会」を皮切りに、「管外研修会」や「自治会研修会」では自治会への加入率向上を基本テーマとしました。また、各研修会での懇親会や新年互礼会を通じて親睦を深めました。



【副会長】矢野天正
(環境委員長)
(昆陽里ブロック・日生住宅自治会長)

「食品の買いすぎ・期限切れを無くそう」を合言葉に、食品ロスをなくし、減量化に向けて啓発してきました。また、グリーンカーテン・雨水貯留タンク・ダンボールコンポストを三本柱として省エネの学習をしてきました。

視察研修では側壁・屋上緑化と蛍光灯等の水銀処理に取り組む企業を見学し、今後の研究方針としました。



【副会長】宮内正次
(生活安全委員長)
(笹原ブロック・笹北自治会長)

安全安心まちづくりニュースを通して、振り込め詐欺・自転車の安全運転・登下校の見守り活動等についての啓発・意見交換を行いました。

また、今年度から4ヶ年計画に基づき小学校区単位で避難所運営ゲーム「HUG」を実施しており防災意識の向上に努めてきました。今後も安全安心なまちづくりを推進してまいります。



【事務局長】岩田武司
(稲野ブロック・千僧自治会長)

地域活動が盛んな伊丹市においても、自治会加入率は年々減少しています。この状況を改善するため、まちづくり推進課の協力を得ながら、住民の皆様を自治会加入へとつなげる「自治会加入促進マニュアル」作成を進めています。

自治会加入に上手くつながっている事例等がございましたら情報をお寄せ下さい。



【副会長】長澤孝
(広報委員長)
(池尻ブロック・西野西自治会長)

今年度は自治連だよりの紙面を大幅に見直しました。いかがでしたでしょうか？また、各地域の皆様の広報スキルを高めていただくため研修会も実施いたしました。

お住まいの地域で「これはとても良い取り組みだ！」と思われる活動等があれば是非、情報提供をよろしくお願い致します。



【副会長】伴博夫
(福祉委員長)
(有岡ブロック・湊町自治会長)

福祉委員会では、昨年度に引続き高齢者の見守り活動の充実をテーマに「NPO法人はなのいえ」への視察研修を実施しました。また、地域活動の一助になる様「サロン事例集」作りに取り組みました。年度末には完成の予定ですので、各地域でご活用いただければ幸いです。



【会計】青木宗生
(花里ブロック・昆陽池西アーバンコンフォート自治会長)

今年度の各事業も、無事計画通りに終了しました。

「良いものを安く、無駄な執行はしない」そんな心掛けをもって自治会連合会全体で無駄を省いてまいりました。

来年度も適正な予算執行ができるように活動してまいります。

【情報提供のお願い】

当連合会では、今年度より行政と連携しながら、自治会の加入促進について施策検討を行っています。

お住まいの地域で自治会加入に上手くつながっている事例等がありましたら情報提供をお願いします。

連絡先：市まちづくり推進課（市役所1階）
TEL 780-3533

“各地域の活動”を市HPや市Facebookに掲載しています。

地域活動を広報するため、市HP（ホームページ）及び市Facebookに各地域の活動を掲載しています。

随時受付をしておりますので、掲載を希望される方は、市まちづくり推進課（市役所1階、TEL：780-3533）まで情報のご提供をお願いします。

※掲載対象は、自治会・地区社協等の地域団体の活動や広報誌となっております。個人の活動はご遠慮下さい。

市HP（ホームページ）へのアクセスは

伊丹 各地域の活動

検索

市Facebookへのアクセスは

伊丹 Facebook

検索



【写真上】
市HP（ホームページ）での掲載

【写真下】
市Facebookでの掲載

